

③ 地球温暖化対策



● 世界の取組

地球温暖化問題の世界的な取組のひとつに、「気候変動枠組条約」という約束事があります。これを決める21回目の会議（COP21）が、2015年にフランスのパリで開催され、世界の196の国と地域が参加する「パリ協定」が採択されました。この協定は、産業革命前（18世紀半ば）と比べて、地球の気温上昇を1.5°C未満に抑えるために、各国が温室効果ガスの削減目標や削減活動を定めたものです。

● 日本の取組

「パリ協定」を受けて、日本は2016年5月に「地球温暖化対策計画」をつくりました。この計画は、地球温暖化に関する日本でひとつだけの総合計画であり、温室効果ガス削減の中長期目標とそれをどのように達成するかなどが示されています。中期目標は、2013年度比で2030年度までに26%減、長期目標は、2050年度までに80%減としています。

● 熊本市の取組

世界共通の課題である地球温暖化問題に地域から貢献することを目指して、熊本市は二酸化炭素の排出量が少ない低炭素社会を目指し、「熊本市低炭素都市づくり戦略計画」を策定しました。この計画を実現するため、次の4つのアクションプラン（行動計画）を示しています。



- 1 水と緑と太陽の恵みに溢れる省エネルギー・創エネルギー型都市の実現
- 2 人と地球にやさしい都市構造・交通システムへの転換
- 3 地球温暖化を防止する低炭素型ライフスタイル・ワークスタイルの実践
- 4 あらゆる資源が有効に活用される資源循環型都市の構築

私たちの取組

「もったいない！」の心を持って、ムダをなくすことが私たちのできる効果的な取組のひとつです。人がいない部屋の電気を消す、冷蔵庫の不要な開閉をしないなど、電気の「もったいない！」を減らすと節電になります。また、顔や体、食器、車を洗っているときに水を流しっぱなしにしないなど、水の「もったいない！」を減らせば節水になります。

節電、節水の心がけは、家庭に、社会に、地球にやさしいことにつながり、地球温暖化対策になります。



あなたやあなたの家族が取り組んでいる地球温暖化対策をチェックしてみよう

- 使っていないところの電気はこまめに消している
- 冷蔵庫を無駄に開け閉めしない
- テレビを見ないときは消している
- エアコンをついている時は、扇風機などで部屋の空気をかきませている
- 歯磨きや顔を洗う時、水を出しっぱなしにしない
- ごはんを残さず食べている
- ゴミは分別している
- エコバッグを使っている
- お風呂は時間をあけずに続けて入っている

その他